

新年あけましておめでとうございませす



新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また昨年は、皆様方からの力強いご支持により、再び町政を担わせていただくこととなりました。その重責を実感するとともに、改めて御礼を申し上げます。

昨年は経済状況にわずかながら明るい兆しが見えてまいりました。しかしここ数年来続いておりますTPP加入交渉に伴う諸問題は、町の基幹産業である農業のほか、医療・保険・雇用まで、私たちの生活に直結する身近な問題であり、今後の動きを慎重に見守る必要があります。これからは地方行政においてもさまざまな変革を余儀なくされることが予想されますが、変化に柔軟に対応できるしなやかな行政の力を養い、皆さまに確かな展望をお示しすることが責務であると考えております。

先の大震災からまもなく3年になります。復旧、復興は着実に進み、生活基盤の整備とともにブランド製品の創出やプレミアム商品



城里町長
阿久津 藤男

券の発行など、地域の元気を取り戻す努力が続いております。

また、去る10月25日に、新庁舎の起工式を行いました。大震災の教訓を活かし、免震構造を取り入れ、省エネルギーや環境面にも配慮した、皆さまに親しまれる庁舎とすべく、平成27年の竣工を目指しております。

今後とも町民の皆さまのため、先の選挙時にお示しした7施策の実現を目指し、まちづくりを進めてまいりますので、お力添え下さいますようお願い申し上げます。

結びに、皆さまのご多幸を心よりご祈念申し上げます、ご挨拶といたします。



城里町議会議長
小松崎 三夫

新年明けましておめでとうございます。皆様には、希望あふれる輝かしい新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より町議会の活動に対し皆様の温かいご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。年頭にあたり、城里町議会を代表しまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、政権交代や東日本大震災からの復興による景気回復が期待され、緩やかな回復の動きが見られたものの、長引くデフレ不況など、依然として厳しい状況が続いております。

自主財源に乏しい本町において、国・県に依存せざるをえず、国の財政施策に大きく左右される財政構造の脆弱さはまだまだ改善

されておりません。財政基盤の安定に向け、行政改革を伴う支出の削減に引き続き取り組んでいかなければなりません。

そのような中、防災の拠点となる役場庁舎の建設着手、七会診療所建設に向けての建設検討委員会の設立など、新規事業がスタートしました。この一年、町議会は、町民の皆様が安心・安全に生活できる環境の整備に向け、総力をあげて取り組んでまいりました。

本年も、城里町議会は創意工夫を重ね、「人と自然が響きあいともに輝く住みよいまち」を将来像とし、城里町総合計画の実現を目指してまいります。

私たち議員一同、役割と責任を自覚し、住みよい魅力ある町づくりに全力を尽くしてまいります。本年も町民の皆様には変わらぬ御支援と御協力を議会に賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって幸せ多い年でありますよう心より御祈念を申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。